

西郷村行政評価

令和 7 年度 [令和 6 年度
実施事業分]

外部評価報告書

令和 7 年 10 月

西郷村行政評価推進委員会

目次

1. 外部評価の概要（令和 6 年度 事務事業の外部評価）	1
（1）行政評価の目的	1
（2）外部評価の位置づけ	1
（3）評価全体の流れ	2
2. 外部評価結果	4
3. 総評	11
4. 資料	12

1. 外部評価の概要（令和 6 年度 事務事業の外部評価）

（１）行政評価の目的

① 事務事業の改善

P D C A サイクルに基づき、事業の目指すべき成果がどの程度達成されているかを検証することで、継続的に事業の改善を図りながら、成果重視の行政運営を推進します。

② 行政の説明責任の向上

村民に評価結果を公表することにより、行政活動の目的、達成目標、評価情報、行政の透明性と村の説明責任を向上させ、行政に対する村民の理解を深めてもらい、村民との協働に取り組む行政運営を推進します。

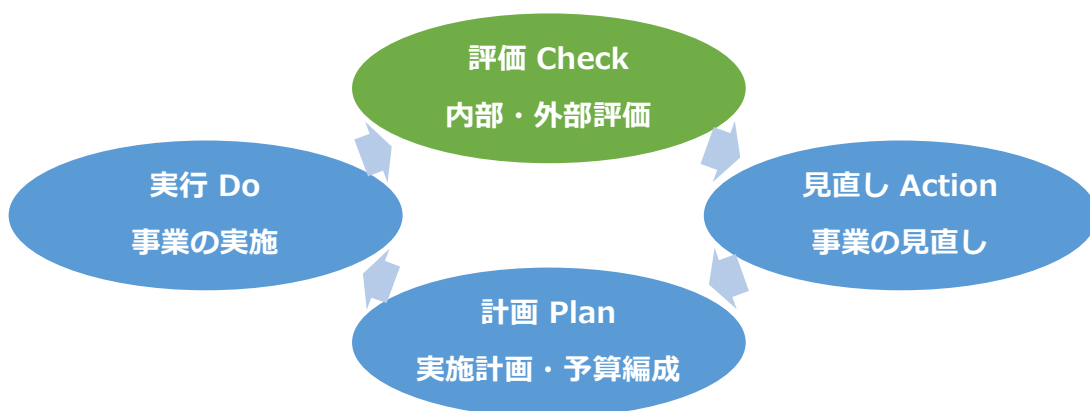
③ 職員の意識改革

行政活動の成果や達成度、要した費用などを明らかにすることにより、行政運営に経営感覚を取り入れ、職員一人一人の目的意識、コスト意識等の意識改革を図るとともに、評価結果を行政活動の見直しや新たな企画立案に反映させるなど、政策形成能力の向上を図ります。

（２）外部評価の位置づけ

行政評価における客観性及び透明性をより向上させるため、P D C A サイクルに基づき、学識経験者および住民により構成される「西郷村行政評価推進委員会」により、行政の内部による行政評価の結果を、外部（第三者）からの視点で再評価し、業務の見直し等について村へ助言を行います。

・ P D C A サイクル



(3) 評価全体の流れ

【内部評価（職員評価）】

- ・事務事業評価（担当評価）… 定性評価・定量評価
- ・事務事業評価（1次評価）… 事業の方向性・予算の方向性・次年度以降の取組等
- ・事務事業評価（2次評価）… 事業の方向性・予算の方向性・改善点等
- ・施策評価 … 基本施策の評価、個別施策の評価、むらづくり指標の達成度

【外部評価（委員会評価）】

- ・評価対象事業の選定 … 実施計画掲載事業の中から、委員会が選定する
- ・担当課ヒアリング … 内部評価の結果、資料等を基に、担当課にヒアリングを行う
- ・評価調書の作成（各委員）… ヒアリング後に委員ごとに評価調書を作成する
- ・報告書の作成 … 委員会としての報告書を作成し、村長へ提出する

【外部評価（委員会評価）について】

① 評価対象事業の選定

本委員会で全ての事務事業の評価を単一年度で行うことが困難であるため、行政評価基本方針に基づき「第四次総合振興計画」に掲げる8つの基本目標から、評価対象事業を外部評価委員会において7件の事務事業を選定しました。

令和7年度外部評価の対象として選定した事務事業は、以下のとおりです。

基本 目標	事業名	事業名	担当課
1	子ども・子育て・少子化対策	保育士等処遇改善事業	福祉課
2	教育・文化・スポーツ	学校規模適正化事業	学校教育課
3	産業・観光・交流	農産物直売所管理事業	産業振興課
3	産業・観光・交流	合宿の里づくり推進事業	産業振興課
3	産業・観光・交流	空き家改修・除却等支援事業	企画政策課
4	都市基盤整備	まちおこしセンター運営事業	建設課
5	保健・医療・福祉	温泉掘削事業（※） 温泉を活用した健康むらづくり事業	企画政策課 健康推進課

※ 評価対象事業は「温泉掘削事業」だが、R7に事業実施している「温泉を活用した健康むらづくり事業」を関連事業としてヒアリングを実施した

② 担当課ヒアリング

評価対象事業の担当課を招集し、ヒアリングにより事業の詳細を確認しました。

③ 評価調書の作成（各委員）

内部評価結果、事務事業評価シート及びヒアリングの内容を基に、委員ごとに「評価調書」を作成した後、委員会としての最終評価をとりまとめました。

なお、事業の評価は「妥当性」「有効性」「効率性」の視点ごとに評価を行った後、総合評価として以下のとおり判定を行っています。

A：事業継続

B：改善を検討し事業を継続

C：事業縮小・再構築の検討

D：事業廃止・凍結の検討

また、事務事業に対する指摘事項や意見、提案についても、委員会からの提言としてとりまとめています。

2. 外部評価結果

事務事業	保育士等処遇改善事業	
担当部署	福祉課	
基本目標	1	希望に満ち、子どもたちが健やかに育つむらづくり
基本施策	1-2	幼児期の教育・保育の充実
個別施策	1-2-1	待機児童対策

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	B
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	B
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	B
総合評価		改善を検討し事業を継続（B）	
総評	保育士の離職等は、「給与」「人間関係」「業務負担」「職場環境」など特定の一因によるものではなく、複合的な要素が絡み合っている。給与等の処遇改善のみならず、職場環境の改善、働きやすさ、キャリア形成支援を一体的に進めることが重要であり、現場の声を丁寧に聴取し、保育士が安心して働き続けられる職場づくりに取り組むべきである。		
提案・コメント	① 待機児童解消のために必要な施策ではあるが、保育士の離職は人間関係が原因である場合も多いため、心のケアやハラスメント対応にも目を向けるべき。 ② 人間関係の問題解消には、転勤や他の園との人事異動・人事交流の機会を提供できると良い。 ③ 特別な支援を要する子どもたちの増加に伴い、配置基準では足りないという現場の「困り感」を解消するために、更なる人材の確保に努めてほしい。		

事務事業	学校規模適正化事業	
担当部署	学校教育課	
基本目標	2	自らを高め、共によりよく生きるむらづくり
基本施策	2-3	教育環境の整備
個別施策	2-3-3	計画的な施設・設備の更新

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	A
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	B
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	B
総合評価		事業継続（A）	
総評	学校統廃合については、慎重な判断が求められるが、少子化や校舎等の施設の老朽化は着実に進んでいる。少数意見を含め多様な意見を踏まえて検討を行い、将来の道筋を整理したうえで、村としての方針を住民と共有していくことが必要である。		
提案・コメント	① 校舎の老朽化が進んでいる中、村民の意見をよく聞いて、ロードマップを早めに示してほしい。 ② 校舎や体育館の老朽化も鑑み、村民みんなが望む充実した教育環境が整備されることを期待する。 ③ アンケート調査の結果のみならず、広く村民から直接意見を聴取する機会を設けることが望ましい。 ④ 特認校制度を導入している川谷小中学校は、少人数教育を希望する児童がのびのび学べる特色ある教育を実践しているほか、地域にとっても重要な拠点となっていることから、慎重に検討すべき。		

事務事業	西郷村農産物直売所管理事業	
担当部署	産業振興課	
基本目標	3	活力ある、交流とふれあいのむらづくり
基本施策	3-1	農林業の進行
個別施策	3-1-3	循環型農業の推進

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	A
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	B
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	B
総合評価		事業継続（A）	
総評	まると西郷館は村の観光資源となっており、単に売り場スペースや飲食ブースを拡大するだけでなく、観光資源として魅力向上や村の活性化につながる施設として整備すべきである。 検討の際には道の駅計画でいただいた意見を参考にいただき、住民ニーズを十分に反映した計画とする必要がある。		
提案・コメント	① 施設の拡張にあたっては、指定管理者だけでなく、生産者や利用者など多様な関係者の意見を取り入れながら検討を進めてほしい。 ② 今後の全体構想を早めに提示し、国の地方創生交付金活用を検討すべき。 ③ 国道 289 号から施設に入る際の事故防止のため、右折ラインの設置を要望していくべき。		

事務事業	合宿の里づくり推進事業	
担当部署	産業振興課	
基本目標	3	活力ある、交流とふれあいのむらづくり
基本施策	3-3	観光・交流の活性化
個別施策	3-3-4	合宿の里づくりの推進

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	B
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	B
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	B
総合評価		改善を検討し事業を継続（B）	
総評	合宿の里づくりは、観光誘客を通じた地域振興や交流人口の拡大、甲子地区の活性化を目的とした事業だが、その効果を高めるためには、合宿で訪れた大学生等との関係構築が重要である。 具体的には、地域資源や地域課題に関する学習プログラムの提供、地域のイベントへの参加、学期中を含めた継続的な交流、学生視点を活かした情報発信などの取り組みを積極的に導入し、地域と大学生の実りある関係を構築することが重要である。		
提案・コメント	① 本事業の目的は、観光振興と交流人口の拡大だが、スポーツ合宿ではスポーツが主目的となり、観光や地域との交流が十分に行われていない可能性がある。 ② 西郷村を売り出すために、陸上のメッカにするぐらいの意気込みで、施設の整備充実を図られたい。 ③ 外国語の観光案内版設置や SNS を活用した情報発信者育成を検討されたい。 ④ スポーツだけでなく、文化活動等の合宿でも活用できることを積極的に周知されたい。		

事務事業	西郷村空き家改修・除却等支援事業	
担当部署	企画政策課	
基本目標	3	活力ある、交流とふれあいのむらづくり
基本施策	3-3	観光・交流の活性化
個別施策	3-3-7	定住・移住の促進

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	B
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	B
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	B
総合評価		事業継続（A）	
総評	空き家は今後も増加が見込まれることから、利活用を促進することが重要である。そのため、空き家バンクを有効活用し、登録物件の適正な管理や移住希望者・企業者への情報提供、相談対応を充実させるとともに、登録数を増やすために不動産業者との連携を強化し、改修支援制度や利活用事例の周知を行うことで、空き家の適正な利活用や地域活性化を推進すべきである。		
提案・コメント	① 空き家対策には、改修・除却の促進のみならず、利活用が難しく除却にも踏み切れない空き家所有者への対応も必要である。 ② 空き家の利活用について、所有者と必要とする住民や移住者向けのマッチング、相談の機会（説明会）を増やすこと、空き家バンク登録数が増えることで少しずつでも空き家の利活用が促進されることを望む。 ③ 防犯・防災、衛生面の観点から、空き家の庭等の環境整備にも力を入れるべき。		

事務事業	まちおこしセンター運営事業	
担当部署	建設課	
基本目標	4	快適に暮らし、利便性の高いむらづくり
基本施策	4-3	住環境の整備
個別施策	4-3-1	居住環境の整備

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	C
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	C
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	C
総合評価		改善を検討し事業を継続（B）	
総評	まちおこしセンターは、単なる待合施設の活用だけではなく、民間事業者への貸し出しや地域イベントの開催、情報発信機能の強化など、多様な利活用を図ることが重要である。そのため、利活用検討委員会を組織し、職員や関係団体等と意見交換を行いながら活用方策や運営などについて協議、検討を進める必要がある。		
提案・コメント	① 「まちおこしセンター」の今後の在り方について住民参加型の利用検討委員会を設置し、有効活用するための予算を確保し、事業拡大を望む。 ② 西郷村の情報の発信場所として、「まちおこし」の名のとおり人が集まる施設・機能となることを期待したい。 ③ 指定管理者制度での管理・運営を検討されたい。		

事務事業	温泉掘削事業（温泉を活用した健康むらづくり事業）	
担当部署	企画政策課（健康推進課）	
基本目標	5	自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり
基本施策	5-1	健康づくりの推進
個別施策	5-1-1	健康づくりの推進

視点ごとの評価	妥当性	・ 事業目的は妥当か ・ 住民ニーズに適合しているか ・ 村が実施する必要性があるか	B
	有効性	・ 成果目標の達成状況はどうか ・ 事業の成果が生じているか ・ 住民サービスの向上が図られているか	B
	効率性	・ 事業費は適正か ・ 民間委託等は可能か ・ 他の課等との横軸連携はあるか	B
総合評価		改善を検討し事業を継続（B）	
総評	掘削事業の実施にあたり、事業目的に即した検討・計画づくりが先行すべきである。 新たな施設整備については、建設費、維持管理費の他、既存施設への影響も懸念されるため、慎重な検討が必要である。		
提案・コメント	① 温泉の掘削次第で利用価値が決まるという漠然とした計画で事業がスタートしているようで、温泉を今後どう有効に使うかという施策を示してから事業に入るべきである。 ② 熱源としてのみならず、温泉が出た後の有効利用について構想を実現してほしい。「合宿の里づくり事業」との連携も図れると良い。 ③ 本事業の目的が「村民屋内プールの光熱費を抑えること」であれば、太陽光発電をはじめとした熱源のコストを比較検討し、最も安価で地域への影響の低い手段を選ぶことが望ましい。		

3. 総評

本報告書は、2017 年度に策定された第四次総合振興計画の施策について、西郷村行政評価推進委員会が実施した外部評価の結果をまとめたものです。

今年度は、昨年度と同様に、7 つの事務事業を評価対象として選定しました。これらは、西郷村の重点事業の中から、当委員会の委員が特に重要と判断したものです。各事業について、所管課に対して綿密なヒアリングを実施したうえで評価を行いました。委員は、村民としての生活者の視点と、各自の専門的知見の両側面から、具体的な提言・提案を行いました。

7 つの事業に対する判定結果は、「A（事業継続）」が 3 事業、「B（改善を検討し事業を継続）」が 4 事業となりました。すべての事業が B 以上の評価を得ていますが、重要なことは、定量的な評価よりも、各委員から示された改善提案と提言の内容です。

委員からは、個々の事業に対して、住民意見の広範な収集・反映や、住民ニーズへの的確な対応、サービスの利便性向上、費用対効果の検証というような観点から、具体的な提言・提案がなされています。委員からの提言・提案を参考にして、来年度の予算や事業の見直し・改善に取り組んで欲しいと思います。

西郷村の行政評価は 2018 年度からはじまりました。その目的は、事務事業の改善、行政の説明責任の向上、職員の意識改革とされています。これまでの取り組みにより、行政評価の成果が明確化されるようになりました。2024 年度からは、委員からの提言・提案が次年度予算にどのように反映されたかについて説明がなされるようになり、PDCA サイクルが着実に機能するようになってきました。この点において、事務事業の改善は図られつつあると考えます。

一方で、行政の説明責任の向上という点では課題もあります。今回評価した事業の中には、住民に対して十分な説明や意見収集が行われていないものも見受けられました。自治体の主人公は地域住民です。住民への積極的な情報提供と、住民意見の丁寧な聞き取りを行なっていただくようお願いいたします。

最後に、外部評価の対象となった所管課の職員のみなさまには、ご協力いただきましたことに深く感謝いたします。行政評価の結果が、西郷村の行政運営の改善と発展につながり、住民の暮らしの向上に寄与することを期待しています。

西郷村行政評価推進委員会

4. 資料

(1) 西郷村行政評価推進委員会 委員

任期：令和5年8月3日～令和9年5月31日

	氏 名	備考
1	藤原 遥	会長
2	居川 孝男	職務代理者
3	田邊 敏捷	
4	勝又 千賀子	
5	菊地 幹雄	
6	菊地 陽子	
7	島田 弘美	
8	庄司 実野里	
9	古川 晃	

(2) 西郷村行政評価推進委員会（外部評価）の開催経過

会議	開催日	内容
第1回	R7.7.31	・ 外部評価の実施方法について ・ 評価対象事業の選定
第2回	R7.9.19	・ 外部評価の実施（担当課ヒアリング）
（書面）	～R7.9.26	・ 評価調書の作成
第3回	R7.10.14	・ 評価報告書（案）の確認と校正
（提出）	R7.10.17	・ 評価報告書を村長へ提出

(3) 内部評価シート（施策評価）について

担当課等による内部評価の結果について、巻末に添付いたします。

令和 7 年度（令和 6 年度実施事業分）

基本施策評価シート

（西郷村提供資料）

基本目標1 希望に満ち、子どもたちが健やかに育つむらづくり

基本施策の評価			
基本施策		評価	
1-1	母子保健の充実	C	合計特殊出生率が大きく低下している
1-2	幼児期の教育・保育の充実	B	待機児童について改善が見られない
1-3	子育て支援の充実	C	医療費がさらに増大している

P. 14

令和7年度実施 基本施策評価シート(令和6年度実績)

基本目標2 自らを高め、共にによりよく生きるむらづくり

むらづくり指標(令和6年度実績)											
コード	担当	指標名	単位	基準値 (H27)	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (目標値)	
2-1	学教	全国学力・学習状況調査平均正解 答率の全国比(小学校)	%	—	—	-3%超	-3%超	+3%超		+3%超	
	学教	全国学力・学習状況調査平均正解 答率の全国比(中学校)	%	—	—	-3%超	-3%超	-3%超		+3%超	
	学教	全国体力・運動能力・運動習慣等調 査平均値の全国比(小学校)	%	99.1	97.3	98.3	99.1	103.2		102.0	
	学教	全国体力・運動能力・運動習慣等調 査平均値の全国比(中学校)	%	105.1	102.4	107.9	113.7	109.4		103.0	
	学教	実用英語検定3級以上取得率(中学 3年生)	%	15.0	47.7	28.1	50.3	43.2		35.0	
	学教	ICTを活用した授業の割合	%	—	90.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
2-2	学教	子ども避難の家登録件数	件	260	264	264	253	240		300	
	学教	子どもの安全見守り隊員数	人	87	81	82	88	88		100	
2-3	学教	指導主事・学校教育推進員の派遣 回数	回	26	94	95	118	96		100	
	学教	学校評価「施設整備」分野への評価 (4点満点)	点	3.36	3.30	3.30	3.33	3.30		3.50	
	学教	通学路安全点検修繕箇所	箇所	2/28	10/40	12/41	15/41	20/47		15/40	
	生涯	奨学金制度の利用者数(累計)	人	3	73	80	88	96		120	
2-4	生涯	公民館事業に参加した人数	円	4,380	4,909	7,634	8,892	8,915		5,000	
	生涯	西郷村単位制総合大学在校生数	人	44	44	49	49	48		50	
	生涯	図書館貸出し冊数	冊	5,894	8,101	6,732	6,368	6,993		10,000	
	生涯	集会施設等稼働率	%	14.0	11.1	10.6	12.7	13.1		15.6	
2-5	生涯	スポーツ大会、教室等の参加人数	人	2,472	15,607	14,420	14,480	18,845		17,000	
	生涯	村内スポーツ施設利用人数	人	104,595	127,896	135,505	105,522	166,001		150,000	
2-6	生涯	文化祭・美術展等の鑑賞者数	人	2,026	343	1,159	1,810	1,895		2,800	
	生涯	ふるさと西郷講座受講者数	人	125	141	179	199	221		150	
	生涯	指定文化財・認定文化財件数(累 計)	件	11	16	17	17	17		20	
	生涯	歴史民俗資料館利用人数	人	246	189	149	226	210		200	
	生涯	文化センター利用件数	件	1,306	1,560	1,753	1,836	1,946		1,800	

基本施策の評価			
基本施策		評価	
2-1	学校教育の充実	B	中学校の学力を除いて概ね良好
2-2	家庭・地域の教育力向上	B	避難の家の件数が減少している
2-3	教育環境の整備	B	通学路の修繕が進んでいる
2-4	生涯学習の推進	B	図書貸し出し数が低いままである
2-5	スポーツの推進	A	目標を達成できている
2-6	芸術・文化の振興	B	文化祭・美術展等の鑑賞者数を除いて概ね良好

個別施策の方向性					
個別施策名		方向性	個別施策名		方向性
2-1-1	豊かな心の育成	拡大・拡充？	2-3-5	就学支援の充実	維持・継続
2-1-2	確かな学力の向上	維持・継続	2-4-1	公民館活動の充実	維持・継続
2-1-3	健やかな体の育成	維持・継続	2-4-2	人材育成・学びの循環の推進	維持・継続
2-1-4	特色ある教育の推進	維持・継続	2-4-3	読書活動の充実	維持・継続
2-1-5	時代に対応した教育の推進	維持・継続	2-4-4	生涯学習拠点・コミュニティ施設の整備	維持・継続
2-1-6	特別支援教育の充実	維持・継続	2-5-1	スポーツに親しむ機会の充実	維持・継続
2-2-1	学校・家庭・地域の連携促進	維持・継続	2-5-2	競技スポーツの推進	維持・継続
2-2-2	地域ぐるみの見守り活動の支援	維持・継続	2-5-3	スポーツ環境の整備・充実	維持・継続
2-2-3	家庭の教育力の向上支援	維持・継続	2-6-1	良質な芸術文化にふれる機会の充実	維持・継続
2-2-4	多様な体験・交流活動の充実	維持・継続	2-6-2	文化活動の促進	維持・継続
2-3-1	安全・安心な学校づくり	維持・継続	2-6-3	文化財の保護・活用	維持・継続
2-3-2	教職員の資質の向上	維持・継続	2-6-4	伝統文化の継承支援	維持・継続
2-3-3	計画的な施設・設備の更新	維持・継続	2-6-5	芸術・文化活動拠点の整備	休止・廃止
2-3-4	安全な通学の確保	維持・継続			

令和7年度実施 基本施策評価シート(令和6年度実績)

基本目標3 活力ある、交流とふれあいのむらづくり

むらづくり指標(令和6年度実績)										
コード	担当	指標名	単位	基準値 (H27)	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (目標値)
3-1	産業	スマート農業機械等導入補助件数	件	-	-	-	4	3		12
	産業	耕畜連携による参加農家の耕作面積	ha	145.0	199.7	198.7	215.3	216.8		200.0
	産業	認定農業者数	人	135	123	123	123	125		123
	産業	有害鳥獣捕獲数	頭	127	164	274	313	491		310
	産業	直売所出品者数(村内人数)	人	60	154	161	166	167		154
3-2	産業	直売所販売金額	千円	5,500	213,710	240,290	243,437	257,935		230,000
	産業	農地集積率	%	45.8	49.2	51.9	53.0	54.3		60.0
	産業	森林整備面積	ha	32.0	29.5	42.0	22.1	58.2		35.0
	産業	松くい虫被害木処理材積	m³	106.0	99.7	54.0	54.7	56.4		105.0
	産業	製造業従業員数	人	4,042 (H28)	4,609	4,609	4,609	4,609		4,800
3-3	産業	製造業出荷額	百万円	162,440 (H28)	238,281	238,281	238,281	238,281		250,000
	産業	卸売・小売業販売額	百万円	30,514 (H28)	28,155	28,155	28,155	28,155		32,000
	産業	「イクボス宣言・福島県次世代育成支援企業」認定企業数(累計)	円	-	9	10	10	10		14
	総務	東京にしごう会会員数	人	69	106	82	72	99		116
	産業	観光客入込数	人	344,171	259,622	289,341	377,128	1,440,243		274,000
3-3	産業	観光客宿泊者数	人	101,987	72,613	61,731	89,857	100,222		91,000
	産業	イベントによる交流人口	人	21,000	500	7,500	10,656	10,994		21,000
	産業	スポーツ合宿で村に訪れた人数	人	1,676	697	1,188	3,256	8,380		2,200
	住民	転入者数	人	1,001	970	1,045	1,136	1,177		1,018

基本施策の評価				
基本施策			評価	
3-1	農林業の振興		B	スマート農業機械等導入補助件数が伸びていない
3-2	商工業の振興・雇用創出・担い手の確保		B	5年ごとの調査のため変動なし
3-3	観光・交流の活性化		B	調査方法の変更により観光客入込数が大幅に増加した

個別施策の方向性				
個別施策名		方向性	個別施策名	方向性
3-1-1	生産基盤の整備	維持・継続	3-3-4	合宿の里づくりの推進
3-1-2	担い手の確保・経営強化	維持・継続	3-3-5	交流・イベントの開催・誘致
3-1-3	循環型農業の推進	拡大・拡充	3-3-6	広域観光の推進
3-1-4	6次産業化の推進	維持・継続	3-3-7	定住・移住の促進
3-1-5	森林再生	維持・継続		
3-1-6	森林の保護・活用	維持・継続		
3-2-1	経営基盤強化支援	維持・継続		
3-2-2	創業支援	維持・継続		
3-2-3	企業誘致の推進	拡大・拡充		
3-2-4	産学官連携・企業間連携の推進	維持・継続		
3-2-5	多様な働き方の推進	維持・継続		
3-3-1	着地型観光の推進	維持・継続		
3-3-2	情報発信・観光プロモーション	拡大・拡充		
3-3-3	観光資源の整備	維持・継続		

令和7年度実施 基本施策評価シート(令和6年度実績)

基本目標4 快適に暮らし、利便性の高いむらづくり

むらづくり指標(令和6年度実績)										
コード	担当	指標名	単位	基準値 (H27)	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (目標値)
4-1	建設	歩道設置延長数(累計)	km	48.5	50.2	51.7	51.8	52.1		54.2
	建設	村道舗装率	%	72.0	73.8	74.2	74.3	74.8		75.0
	建設	歩道除雪隊登録数(累計)	団体	12	23	21	21	22		25
	企画	デマンドタクシー利用人数(1日当たり)	人	-	42.3	38.1	35.6	39.1		51.0
4-2	企画	デマンドタクシー利用者満足度	%	-	61.9	-	-	70.5		75.0
	水道	水道有収率	%	78.9	79.4	79.6	84.8	87.3		81.9
	水道	下水道接続率	%	89.3	92.4	93.0	93.6	93.8		93.5
	水道	水洗化率(合併浄化槽含む)	%	79.7	88.1	88.5	89.0	89.3		91.0
4-3	水道	水質基準適合率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0
	企画	西郷村空き家バンク制度利用率	%	-	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0
	企画	住宅取得費補助金件数(累計)	件	-	7	55	62	89		200
	建設	村営住宅入居率	%	96.0	96.0	98.8	97.1	95.9		100.0
	建設	定住促進住宅入居率	%	67.0	56.0	52.0	56.5	64.0		60.0

基本施策の評価			
基本施策		評価	
4-1	道路・公共交通の整備	B	デマンドタクシーの利用人数、満足度共に目標に届いていない
4-2	上下水道の整備	A	ほぼ目標を達成できている
4-3	住環境の整備	B	定住促進住宅入居率が改善された

個別施策の方向性			
個別施策名		方向性	個別施策名
4-1-1	計画的な道路整備の推進	維持・継続	
4-1-2	生活道路の安全確保	維持・継続	
4-1-3	除雪体制の強化	拡大・拡充?	
4-1-4	道路の長寿命化	維持・継続	
4-1-5	公共交通網の再編	維持・継続	
4-2-1	汚水の適正処理	維持・継続	
4-2-2	水の安定供給と水質監視	拡大・拡充	
4-2-3	上下水道事業の安定経営	維持・継続	
4-2-4	ストックマネジメントの推進	維持・継続	
4-3-1	居住環境の整備	維持・継続	
4-3-2	公営住宅の整備	維持・継続	
4-3-3	公園・緑地の管理	維持・継続	
4-3-4	情報通信基盤の管理	維持・継続	
4-3-5	コンパクトなまちづくりの推進	維持・継続	

令和7年度実施 基本施策評価シート(令和6年度実績)

基本目標5 自分らしく生き、笑顔があふれるむらづくり

むらづくり指標(令和6年度実績)										
コード	担当	指標名	単位	基準値 (H27)	R3	R4	R5	R6	R7	R8 (目標値)
	健康	にしGOココカラ元気プロジェクト参加人数	人	-	146	165	141	326		350
	健康	生活習慣改善(運動教室等)参加者数	人	-	2,378	3,450	3,904	4,002		6,600
5-1	健康	特定健康診査受診率	%	41.6	47.2	47.9	47.8	49.5		60.0
	健康	お達者度(65歳の日常生活動作が自立している期間の平均)(男)	歳	-	16.23	-	-	16.21		17.46
	健康	お達者度(65歳の日常生活動作が自立している期間の平均)(女)	歳	-	19.53	-	-	18.79		20.61
	健康	かかりつけ医がいる高齢者の割合	%	69.3	82.6	84.2	84.2	86.5		85.0
5-2	住民	国民健康保険一人当たり費用額	千円	279	297	307	353	343		300以下
	住民	後期高齢者健診受診率	%	17.9	25.0	28.5	30.0	32.3		30.0
	健康	要支援・要介護に認定されていない人の割合	%	84.0	84.7	84.4	84.8	84.6		85.0
	生涯	人生楽園クラブ参加者数	人	70	83	72	96	66		100
5-3	健康	シニア活動支援事業(介護予防運動)実施地区数	地区	5	11	14	15	15		19
	健康	介護予防サポーター養成数	人	-	17	10	11	8		30
	健康	介護保険サービス受給率	円	-	82.3	84.8	83.3	86.6		90.0
	福祉	福祉施設利用者の一般就労への移行者数	人	-	6/65	2/62	2/71	0/79		10/65
5-4	福祉	地域生活支援事業利用者数	人	2,439	2,139	2,656	2,288	1,365		2,500
	福祉	重度障がい者支援費	千円	22,112	25,808	27,671	29,691	30,465		24,000
	財政	公共施設バリアフリー化	施設	4/7	5/7	6/7	6/7	6/7		6/7
	福祉	福祉関連ボランティア人数	人	3	0	10	3	1		10
5-5	福祉	生活困窮者支援事業による就労者数	人	-	2/134	4/65	2/37	5/39		5/100

基本施策の評価				
基本施策		評価		
5-1	健康づくりの推進	B	お達者度が男女共に低下している	
5-2	医療の充実	B	後期高齢者健診受診率が伸びている	
5-3	高齢者福祉の充実	C	全般的に数値が低い	
5-4	障がい者(児)福祉の充実	B	重度障がい者支援費がやや増加した	
5-5	地域福祉の充実	C	福祉関連ボランティアが確保できていない	

個別施策の方向性				
個別施策名		方向性	個別施策名	方向性
5-1-1	健康づくりの推進	維持・継続	5-3-5	自立・生活支援の充実
5-1-2	生活習慣病予防・がん対策の推進	維持・継続	5-4-1	相続支援体制の強化
5-1-3	食育の推進	拡大・拡充	5-4-2	社会参加・就労支援
5-1-4	こころの健康づくり	維持・継続	5-4-3	障がい福祉サービスの充実
5-1-5	感染症予防の推進	維持・継続	5-4-4	バリアフリーのむらづくり
5-2-1	地域医療体制の強化	維持・継続	5-5-1	ボランティア・福祉団体等の活動支援
5-2-2	かかりつけ医の普及	維持・継続	5-5-2	コーディネート機能の充実
5-2-3	適正受診の促進	維持・継続	5-5-3	安全・安心の確保
5-2-4	国民健康保険制度への支援	維持・継続	5-5-4	生活困窮者支援の実施
5-2-5	後期高齢者医療制度への支援	維持・継続		
5-3-1	社会参加・生きがいづくり	維持・継続		
5-3-2	地域包括ケアシステムの充実	維持・継続		
5-3-3	介護サービスの充実	維持・継続		
5-3-4	高齢者の権利擁護	維持・継続		

基本施策の評価		
基本施策		評価
6-1	自然環境の保全と共生	B 環境学習開催回数が増えている
6-2	循環型社会の推進	C ごみ排出について目標に程遠い状況である
6-3	低炭素社会の実現	A 目標を達成できている

P. 19

基本目標⑦ 安全が守られ、災害に強いむらづくり

基本施策の評価		
基本施策		評価
7-1	防災対策・消防体制の充実	B 消防団員が確保できていない
7-2	防犯・交通安全の推進	C 事故、犯罪共に件数が増加している

P. 20

基本施策の評価		
基本施策		評価
8-1	協働によるむらづくりの推進	B
8-2	持続可能なむらづくりの推進	A
8-3	電子自治体の推進	A

P. 21